議案第75号

第6次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）について
第6次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）を別紙のとおり定める。

令和6年11月27日提出

鶴ヶ島市長 齊藤 芳久

提 案 理 由

総合的かつ計画的に市政を運営するため、第6次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）を策定したいので、鶴ヶ島市議会基本条例第8条の規定により、この案を提出するものである。

第6次鶴ヶ島市総合計画
後期基本計画
(令和7年度～令和11年度)

政策1 安心して暮らせるまち（福祉）

施策1 地域福祉の推進

- 1. 市民の意識啓発や居場所づくり、分かりやすい情報発信などにより、人と人をつながる地域づくりを推進します。
- 2. 課題を抱えた人や世帯が地域とつながるよう、市民が地域生活課題を受け止め、支えあう仕組みづくりを推進します。
- 3. 課題を抱えた人や世帯が地域専門職による相談につながることなど、市民が安心して暮らせる、包括的な支援体制づくりを推進します。

施策2 生活の安定と自立への支援

- 1. 生活困窮者に対する相談・支援体制の充実を図ります。
- 2. 日常生活自立、社会生活自立、経済的自立の支援の充実を図ります。
- 3. 生活困窮世帯等のこどもの就学・修学を支援します。

施策3 こども・家庭への支援の充実

- 1. 母子保健や児童福祉などの機能を集約し、すべての妊産婦や子育て家庭が安心して子育てができる環境の充実を図ります。
- 2. 要保護児童対策地域協議会の仕組みを活用し、児童虐待防止の取組を推進します。
- 3. 関係機関との連携により、ヤングケアラーなど配慮が必要なこどもを支援します。
- 4. 子育ての負担軽減に向けたさまざまな支援や、こどもの貧困対策を推進します。

施策4 地域連携による子育て支援の充実

- 1. 利用希望児童数の変化に応じた学童保育室の整備などにより、学童保育の充実を図ります。
- 2. 地域の多様な主体との連携を進め、こどもが安全で安心して過ごせる居場所を確保するとともに、地域の子育て支援の充実を図ります。
- 3. 家庭・学校・地域との連携により、青少年の健全育成を推進します。
- 4. こどもや子育て家庭の声を聴きながら、子育て支援の充実を図ります。

施策5 幼児教育・保育の充実

- 1. こどもが健全で心豊かに成長できるよう、家庭や地域社会と連携した保育を推進します。
- 2. 認定こども園、保育所、地域型保育施設などを計画的に整備します。
- 3. 一時預かりや病児保育など、多様な保育サービスを推進します。
- 4. 質の高い保育サービスの継続のため、保育環境の充実を図ります。

施策6 障害や生きづらさを抱える人への支援

1. 障害に対する理解を促進し、障害のある人への差別解消や権利擁護の取組を推進します。
2. 障害のある人が安心して地域で生活できるよう、相談・支援体制などの充実を図るとともに、コミュニケーション手段の確保に努めます。
3. 障害のある人が自立した生活を送れるよう、社会参加や就業を支援します。
4. 障害のある子どもに対する支援として、療育体制や家族への支援の充実を図ります。また、医療的ケア児の適切な支援のため、関係機関などとの連携を図ります。
5. 生きづらさを抱える人を支援し、誰も自殺に追い込まれることのない地域社会をつくれます。

政策2 豊かな人が育つまち（教育・文化）

施策7 未来を創り出す力を育む教育の推進

- 1. 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、学び合い学習や外国語教育の充実、多様な教育の機会の確保などにより、「確かな学力」を育成します。
- 2. 道徳教育やいじめ・不登校対策の推進などにより、他者を尊重し、協働できる「豊かな心」を育成します。
- 3. 体力の向上、食育の推進や基本的な生活習慣の確立に向けた家庭との連携などにより、たくましく生きるための「健やかな体」を育成します。

施策8 教育環境の充実

- 1. 地域とともにある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクールなどの充実を図ります。
- 2. 学校における働き方改革を進め、こどもと向きあう時間を増やすとともに、教員の資質向上を図ります。
- 3. 学校施設の機能維持を図るとともに、安全で快適な学習環境の整備を図ります。
- 4. 学校教育の情報化を推進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

施策9 生涯学習・スポーツの振興

- 1. 多様化しているニーズを踏まえ、図書館サービスの充実を図ります。
- 2. スポーツ施設を着実に整備し、スポーツ活動の場の充実を図ります。
- 3. 誰でも参加できるスポーツ・レクリエーション機会の充実を図ります。
- 4. 各種団体や大学、企業などとの連携・協働による持続的な生涯スポーツ・健康づくりを推進します。

施策10 歴史・文化の継承と芸術の振興

- 1. 民具や埋蔵文化財など、さまざまな分野の文化財の保存・保護を推進します。
- 2. 文化財の展示や体験学習、郷土資料のデジタル化など、さまざまな方法で文化財の活用を推進します。
- 3. 伝統行事の保存と継承を支援します。
- 4. 各種団体や市民による文化・芸術活動を支援します。

政策3 いきいきと暮らせるまち（保健）

施策11 健康づくりの推進

- 1. 市民が主体的に健康づくりを実践できるよう支援します。
- 2. 健康づくりのための地域活動を支援するとともに、地域で活躍できる人材を育成します。
- 3. 市民が栄養バランスの良い食生活を実践できるよう食育を推進します。
- 4. 生活習慣病などの疾病予防・重症化予防とフレイル予防・介護予防に向けた取組を推進します。
- 5. デジタルを活用し、認知症予防およびフレイル予防を推進するとともに、デジタルデバインド（情報格差）の解消を図ります。

施策12 地域保健・地域医療の充実

- 1. 生活習慣病の予防およびがんの早期発見・早期治療のため、健康教育や健康相談の充実を図り、各種健（検）診の受診を促進します。
- 2. 感染症の予防、拡大防止を推進します。
- 3. 医師会などの医療関係機関と連携し、適正受診を促すとともに、休日・夜間の安定した救急診療体制の確保を図ります。
- 4. ライフステージに応じた歯科疾患の予防、口腔の健康保持および機能向上のため、歯科口腔保健の充実を図ります。

施策13 高齢者が安心できる生活の支援

- 1. 医療・介護・予防・住まい・生活支援が適切に提供できる地域包括ケアシステムの充実を図ります。
- 2. 認知症の正しい知識・理解の普及を図るとともに、認知症高齢者が尊厳ある、本人らしい生活が継続できる地域社会をつくります。また、認知症などにより判断能力が十分でなくなった場合でも、地域で生活できるよう成年後見制度の利用を促進します。
- 3. NPO、ボランティア、地域支え合い協議会などの連携・協力により、高齢者の生活を支援します。
- 4. 老人クラブの活動やシルバー人材センターでの就労などを通して、高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援します。

施策14 介護予防・介護サービスの充実

- 1. できる限り自立した生活を送ることができるよう、介護予防の取組の充実を図ります。
- 2. 介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅での介護・看護サービスの充実を図ります。
- 3. 要介護認定および介護給付の適正化を図り、介護保険制度の安定的な運営を推進します。

施策 15 医療保険・年金制度の適正な運営

1. 埼玉県が示す国民健康保険に係る保険税水準の統一に向け、市の保険税率の見直しを行い、持続可能な国民健康保険の運営を図ります。
2. 医療保険財政の安定・強化を図るため、現年度分未納者に対する早期対策などにより、保険税（料）の収納対策に取り組みます。
3. 適正受診の勧奨および生活習慣病などの重症化の予防を推進し、医療費の適正化対策に取り組みます。
4. 年金制度の必要性や内容を周知するとともに、年金相談などの機会を通じて、国民年金制度の普及・啓発を促進します。

政策4 活力にあふれるまち（市民生活）

施策16 地域コミュニティの充実

- 1. 持続可能な地域コミュニティづくりのため、自治会活動を見直し、負担軽減を図るとともに、世代を超えたコミュニケーションづくりを支援し、加入促進を図ります。
- 2. 地域支え合い協議会の担い手育成を支援し、地域で支えあう取組を促進します。
- 3. 地域活動への関心を高め、担い手を増やしていくため、市民の活躍機会の充実を図ります。

施策17 地域を支える拠点づくり

- 1. さまざまな事業を通じて市民センターの利用者を増やし、地域活力の創出と交流を促進します。
- 2. 市民に一番身近な行政機関としての市民センターの機能を拡充し、地域を支えるための新たな共助の仕組みを構築します。
- 3. 南市民センターを移転・複合化し、新たな交流拠点として整備を進めることで、地域住民をはじめとした人びとの憩い・交流・にぎわいを創出します。

施策18 防災対策の充実

- 1. 地域防災計画を適宜見直し、災害および緊急事態に対する体制を整えます。
- 2. 市民、地域、企業、消防、警察などと連携し、災害時の救出体制を強化します。
- 3. 防災訓練や防災に関する講座の開催など、さまざまな機会を通じて市民の防災意識の高揚を図り、「自助」の取組を促進します。
- 4. 市民自らが防災活動を担えるよう、自主防災組織の設立を促進し、お互いに助けあう「共助」の取組を支援します。

施策19 消防・救急体制の充実

- 1. 消防施設の長寿命化計画に基づく消防庁舎の整備を促進します。
- 2. 複雑・多様化する災害に対応するため、消防車両および資機材の充実を促進します。
- 3. 増加する救急出動に備えるため、救急体制の充実強化を促進します。
- 4. 地域に密着した防災活動を推進するため、消防団活動の充実強化を促進します。
- 5. 市民の安全を確保するため、消防・救急に対する意識の高揚および災害への対応力の強化を促進します。

施策20 交通安全対策の充実

- 1. 交通関係団体や警察などとの連携のもと、交通安全教育・啓発運動を推進するとともに、必要な支援を行います。
- 2. 区画線の設置・補修や啓発反射看板の設置など、安心・安全な交通環境の整備を推進します。

施策 21 防犯対策の充実

- 1. 持続可能な防犯活動に向け、防犯体制の充実と環境整備を図ります。
- 2. 犯罪を未然に防止するため、防犯意識の高揚と必要な犯罪情報の周知を図ります。
- 3. 関係機関との連携により、犯罪被害者の支援に取り組みます。

施策 22 消費者の安全確保

- 1. 消費生活に関する情報の提供や、制度改正の周知・啓発を行います。
- 2. 消費者被害を未然に防止するため、地域や教育機関と連携を図り、消費者教育を推進します。
- 3. 消費生活相談員の実務能力向上を図るとともに、専門知識を有する弁護士相談を実施することにより、消費生活センターの対応力を強化します。
- 4. 消費者安全確保地域協議会の構成機関と連携し、消費生活問題の情報共有と被害者への問題解決に向けた対応を図ります。

施策 23 人権・平和意識の醸成

- 1. 女性、子ども、高齢者、障害のある人、性的少数者、部落差別などの人権問題について、講演会や啓発活動などを通して正しい情報を提供し、人権に関する意識を醸成します。
- 2. 関係機関と連携し、人権相談やパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度などを実施することにより、相談・支援体制の充実を図ります。
- 3. 戦争の悲惨さと平和の尊さを深く認識し、平和な社会の尊さを市民に伝承することや、関係団体と連携することにより、市民の平和に対する意識の醸成や高揚を図ります。

施策 24 男女共同参画の推進

- 1. 子育てや防災などをはじめ、さまざまな観点から女性センターを活用していくことで、男女共同参画の意識の醸成や高揚を図ります。
- 2. 女性の就職や起業の支援など、関係機関や地域企業との連携により、社会における女性の活躍と参画を促進します。
- 3. 市民や地域企業への情報発信などを通して、ワーク・ライフ・バランスの普及を推進します。
- 4. 関係機関との連携により、若年層の暴力の予防啓発を推進するとともに、性別に起因する暴力などの防止、支援体制の充実を図ります。

施策 25 多文化共生の推進

- 1. 国際交流活動を支援し、それぞれの文化を理解しあえる機会の充実を図ります。
- 2. 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを推進するため、やさしい日本語などでの情報発信や案内などの充実を図ります。

政策5 魅力とにぎわいのあるまち（産業・環境）

施策26 商工業の振興

- 1. 起業支援や空き店舗の活用支援を図り、にぎわいのある商店街の形成を支援します。
- 2. 市内事業者や商工会と連携し、市内消費の促進に向けたイベントなどを開催することにより、地域経済の活性化を図ります。
- 3. ふるさと納税返礼品の充実による商工業の活性化を図ります。
- 4. 地域資源を活用した商店街への誘客につながる支援を図ります。

施策27 雇用の創出と就労対策の充実

- 1. 企業誘致などによる雇用の創出を図るとともに、市内企業と連携しながら地域での就業機会の確保を図ります。
- 2. ハローワークなどの関係機関と連携した就労支援の充実を図ります。
- 3. 若年者から高齢者までのあらゆる世代や障害のある人などに対応した、幅広い就労支援を行います。

施策28 農業の振興

- 1. 鶴ヶ島の農業を支える新たな担い手の確保・育成を促進します。
- 2. 農業者などとの連携により、鶴ヶ島産農産物の生産力向上と地産地消を促進します。
- 3. 意欲ある担い手や農地中間管理制度などを活用し、農地の集約や遊休農地の解消を図り、農地の保全・活用を促進します。
- 4. 市民の農業への理解を深めるため、農業交流センターなどを活用し、多彩な食・農・自然体験の場をつくります。
- 5. 農村風景の魅力を発信し、地域との協働、市民参加により農村景観を守り育てます。

施策29 環境保全の推進

- 1. ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民や事業者の地球温暖化に対する意識の啓発を図ります。
- 2. 市役所などの公共施設における省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入などにより、環境への負荷を減らす取組を推進します。
- 3. 循環型社会の実現に向けて、5Rの普及・啓発を図ります。
- 4. 環境に配慮した行動を実践する市民や事業者を増やすため、環境団体と連携しながら環境活動や環境学習の機会創出・参加促進を図ります。
- 5. 「埼玉西部環境保全組合」による廃棄物の適正処理と資源化を促進します。

政策6 快適で住みよいまち（都市整備）

施策30 適正かつ合理的な土地利用の推進

- 1. 土地利用に係る諸制度を適切に活用・運用します。
- 2. 地域の実情に即した手法により、藤金地区地区計画区域内の整備を進めます。
- 3. 居住の受け皿を確保するため、土地利用転換検討地域（東部地区）における新たな土地利用を促進します。
- 4. 自然との調和を図りながら、圏央鶴ヶ島インターチェンジや国道407号バイパスの周辺地域を産業拠点として活用します。
- 5. 関係機関と連携し、事業者などの協力を得ながら、良好な景観形成のための取組を進めます。
- 6. 「坂戸、鶴ヶ島下水道組合」による公共下水道の整備を促進します。

施策31 良好な住環境の推進

- 1. 住まいの耐震性の向上の支援および優良な住宅の維持を推進します。
- 2. 啓発・相談・指導の実施などとともに、不動産の流通を促すなど、空家等の対策を推進します。
- 3. 低所得者や高齢者、障害のある人、子育て世帯などが入居しやすい住宅の普及を促進します。
- 4. 既存住宅ストックを活用するほか、若い世代の定住促進・転入促進に向けた対策を推進します。

施策32 公園の整備と緑化の推進

- 1. 土地区画整理事業により創出された公園用地について、地域住民の意見を反映した特色ある公園整備を進めます。
- 2. 公園施設の老朽化や公園利用者のニーズに対応するため、公園施設の計画的なリニューアルを進めます。
- 3. 市内に残る貴重な樹林地や屋敷林を保全するとともに、鶴ヶ島グリーンパークを環境保全活動の拠点とし、産官民連携による保全活動を行います。
- 4. 公園のサポート団体などの市民との協働により、ガーデンパークなどの公園や緑地について、公園の特色を活かしながら適正に維持管理します。

施策33 道路環境の整備

- 1. 快適で円滑な地域間交通を確保するため、交通網の骨格となる都市計画道路の整備を計画的に進めます。
- 2. 経年により老朽化が進んでいる道水路・橋りょうを適切に維持管理します。
- 3. 誰もが安全に道路を利用できるよう、歩道などの整備を進めます。
- 4. 間伐などを実施することにより、街路樹を適正に管理します。

施策 34 公共交通の充実

- 1. 交通事業者などの関係機関と連携し、公共交通網の充実を図ります。
- 2. 公共施設の再編などに合わせ、運行ルート・運行ダイヤを見直し、市内公共交通の利便性の向上を図ります。
- 3. 市内公共交通にEV車両を導入するなど、環境に配慮した運行を行います。
- 4. 一本松駅の改修など、公共交通施設の環境整備を促進します。

政策7 経営的視点に立った市政運営（市政運営）

施策35 持続可能な行政経営の推進

- 1. 計画、予算および評価の一連の流れの中で、常に事務事業の見直しや事業の優先順位付け、積極的な歳入の確保を行い、安定的な行財政運営を進めます。
- 2. 民間活力の効果的な活用や人材・財源などの経営資源の配分の最適化を図り、機能的な組織体制を構築します。
- 3. 職員の人材育成の充実と能力・適性に合わせた人事配置などにより、職員が能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを行うとともに、組織力の向上を図ります。

施策36 ファシリティマネジメントの推進

- 1. 公共施設個別利用実施計画に基づいた、公共施設の計画的かつ効果的な管理を推進します。
- 2. 先進自治体や民間事業者の知恵・工夫などを積極的に取り入れ、市有財産（土地や建物など）の有効活用を図ります。
- 3. 公共施設の集約・複合化や適正配置を念頭に置いた計画的な土地の買取りや返還により、公共施設の借地の解消を図ります。

施策37 デジタル化の推進

- 1. 行政サービスの選択肢を拡充し、市民の利便性向上を図るため、行政手続のデジタル化を推進します。
- 2. 情報セキュリティ対策の向上のため、庁内体制と基盤の整備を進めます。
- 3. スマート自治体への転換に向け、デジタル人材の育成、先端技術の活用、デジタル化による業務改革など、デジタル・トランスフォーメーションを進めます。

施策38 情報発信・収集の充実

- 1. 広報紙やホームページ、SNSなどのさまざまな媒体を通じた情報発信を行うとともに、市への関心を高める広報活動を推進します。
- 2. 市民コメントや意見交換会のほか、ICTを活用した意見収集など、さまざまな広聴活動で届いた意見や提案などを市政に活かします。

施策39 まちの魅力の共有とブランド化の推進

- 1. 市民や事業者、地域と連携し、市のイベントや地域資源などを活用することにより、鶴ヶ島のブランドイメージを醸成するとともに、市内外に向けたシティプロモーションの取組を進めます。
- 2. 若い世代や子育て世代などに向けて、さまざまな手法による情報発信を強化します。
- 3. シビックプライドの醸成やまちへの愛着を図るため、市民が地域とさまざまに関わる機会を創出するとともに、市民の主体的な活動を支援します。